

地域医療連携だより

2023年 1月号 第32号



ドクターのお仕事体験 心臓カテーテル治療に挑戦中！（文化祭より）

Topics

- 診療科紹介 消化器内科
- サポート高松トライアスロン 医療救護活動
- みんなの病院文化祭2023を開催しました
- 第12回高松市立病院学会を開催しました
- 地域医療・患者支援センターからのご案内
・第79回地域医療連携セミナーのご案内

診療科紹介 消化器内科

診療内容

消化管(食道、胃、十二指腸、小腸、大腸)および肝・胆・膵(肝臓、胆道、膵臓)の疾患が主な診療対象です。各種診療ガイドラインに沿った医療を提供させていただくとともに、個々のご希望やご病状に応じて最善の選択ができるよう努めています。最新の内視鏡検査・治療や、消化器癌の化学療法や放射線治療、緩和内視鏡治療も積極的に行っています。

スタッフ

常勤医師4名（非常勤医師など合計8名）、内視鏡技師4名、ERスタッフを中心にチーム医療を実践し、各認定取得に向けた教育体制も充実しています。



特色・強み

当科では、消化器病におけるコモディージーズから稀少疾患まで幅広い領域で対応させていただいています。地域の医療機関からの消化器急性疾患のご依頼は、消化器ホットラインを通じ迅速な対応を行っており、開設後5年を経過し多くの施設の先生方よりご紹介をいただいています。がんの中でも罹患数の多い、胃がん、大腸がんの早期診断、早期治療に力を注いでいます。また進行・再発癌に対しては、徳島大学大学院医歯薬学研究部寄附講座の腫瘍内科医の協力を受けて最新のエビデンスに基づいた化学療法を行っています。さらに消化管・胆道ステントや薬物療法などによる緩和医療など、ご高齢の方も含めまして癌患者さんをトータルに診療しています。消化器内視鏡に関しては、保険診療における内視鏡時の苦痛軽減のため、鎮静剤・鎮痛剤を希望や状態に応じて使用していますので、安楽に検査をお受けいただけます。

内視鏡センターにおけるコロナ感染対策について

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は令和5年5月8日に感染症法における「5類感染症」に変更となりました。しかし、医療現場においては、様々なリスクをお持ちの患者さんが多くいらっしゃることも、引き続きしっかりとした感染対策が求められており、特に、エアロゾルを発生する消化器内視鏡診療においてはより確実な感染対策を講じる必要があります。当センターでは日本消化器内視鏡学会・日本人間ドック学会からの指針・ガイドラインを遵守し、引き続き、感染対策に留意して参ります。

各学会認定（非常勤医師等を含む）

日本消化器病学会認定施設
日本肝臓学会認定施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設

日本内科学会総合内科専門医 5名
日本内科学会認定内科医 3名
日本内科学会内科専門医 1名
日本消化器病学会専門医 8名
日本消化器内視鏡学会専門医 8名
日本肝臓学会専門医 4名
日本ヘリコバクター学会認定医 3名
日本がん治療学会認定医 3名
日本病態栄養学会専門医 1名
日本静脈経腸栄養学会認定医 1名
日本超音波学会 超音波専門医 1名
日本消化管学会胃腸科専門医 2名
日本臨床腫瘍学会専門医 2名
日本カプセル内視鏡学会認定医 1名
日本消化器がん検診学会総合認定医1名

診療実績

	2020年度	2021年度	2022年度
外来患者数	6,658	6,773	6,903
入院患者数	7,084	6,865	8,658
一日当たり入院患者数	19.4	18.8	23.7
初診患者数	996	1165	1172
初診紹介数	616	724	712
紹介率(%)	77	83	88
逆紹介数	951	980	908
逆紹介率(%)	125	116	113
上部消化管内視鏡			
一般	1,322	1,247	1,259
ドック、胃がん検診	1,147	1,352	1,425
EUS-FNA	10	5	10
胃瘻造設	42	45	37
上部消化管ESD	22	18	15
大腸内視鏡	471	489	468
大腸EMR・ポリペクトミー	203	235	268
大腸ESD	12	5	8
ERCP関連手技	120	145	133
合計(その他含む)	3,921	4,026	4,036

